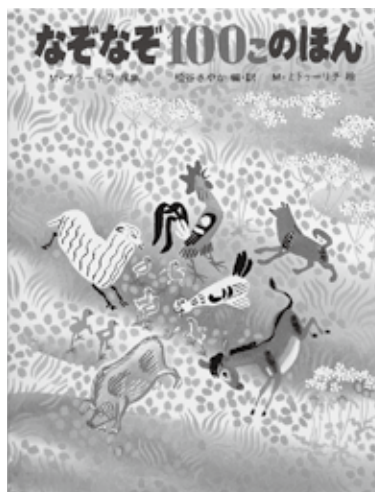


ことばあそび



なぞなぞ

なぞなぞ100このほん



- M・ブラートフ 採集 ■ 松谷 さやか 編・訳
- M・ミトゥーリチ 絵

福音館書店／1994年／1260円(本体1200円＋税)

「あかいくつが つちのなかに もぐってる (答え：あかかぶ)」など、ロシアや旧ソ連の民族に伝わる、その地方ならではの自然や動物などのなぞなぞを 100 個集めた絵本です。やさしい言葉で書かれたなぞなぞのすぐそばに温かみのある色彩で描かれた挿絵があるので、言葉と絵を見て楽しく考えることができます。

なぞなぞ

絵本

総ページ
32ページ

対象
小学校低学年から

なぞなぞ

なぞなぞえほん 1のまき



- 中川 李枝子 さく
- 山脇 百合子 え

福音館書店／1988年／670円(本体638円＋税)

「あさおきたらまずいくところ・・・ひとりきりでいくところ (答え：トイレ)」から始まるなぞなぞの絵本です。子どもが朝起きてから夜寝るまでの一日を、日用品、出来事、動物などが答えになるなぞなぞとかわいい挿絵で楽しめる絵本です。続編に『2のまき』『3のまき』があります。

なぞなぞ

絵本

総ページ
56ページ

対象
小学校低学年から

◎シリーズ全3巻

なぞなぞ

なぞなぞあそびうた



- 角野 栄子 さく
- スズキ コージ え

のら書店 / 1989年 / 1260円(本体1200円+税)

漢字を使わないやさしい言葉で書かれた 57 問のなぞなぞを集めた絵本です。ヒントになる絵がそばにあるので、答えがぱっと見えてきます。繰り返しや同じリズムの言葉で書かれたなぞなぞが多く、歌うように読んで楽しむこともできます。同シリーズに『なぞなぞあそびうたⅡ』があります。

なぞなぞ

総ページ
79ページ

対 象
小学校中学年から

◎シリーズ全2巻

なぞなぞ

なぞなぞの本 一福音館日曜文庫一



- 福音館書店編集部 編
- 石川 勇 絵

福音館書店 / 1982年 / 1365円(本体1300円+税)

「世界に大ふろしき 答え：天（日本 長野）」、「森を頭にのせてあるいている 答え：オオシカ（ロシア）」など、日本各地や世界のいろいろな国と民族のなぞなぞが 524 問紹介されています。短文のなぞなぞだけでなく、詩や物語になっている長文のなぞなぞもあり、言葉から連想する楽しさをじっくり味わえる本です。

なぞなぞ

総ページ
197ページ

対 象
小学校高学年から

早口ことば

どうぶつはやくちあいうえお



■きしだ えりこ 作

■かたやま けん 絵

のら書店／1996年／1365円(本体1300円＋税)



「あんぱん ぱくぱく ぱんだのぱんや」から始まる、動物や生きものが出てくる早口ことばを五十音順に並べた楽しい絵本です。韻を踏んだ言葉の意味とリズムがおもしろく、色鮮やかな絵を眺めながら早口ことばを楽しめる本です。『はやくちどうぶつかるた』(1988年 福音館書店)を絵本にしたものです。

早口ことば

絵本

総ページ
91ページ

対象
小学校低学年から

早口ことば

じゅげむ 一落語絵本四一



■川端 誠 作・絵

クレヨンハウス／1998年／1260円(本体1200円＋税)



有名な落語の「じゅげむ」を子ども向けに読みやすくした絵本です。落語を聞いているようなリズムミカルな語り口の文章とユーモラスな挿絵で、落語のおもしろさが伝わるように構成されています。「じゅげむじゅげむ・・・」と声に出して読んでみたくなる本です。

早口ことば

絵本

総ページ
24ページ

対象
小学校中学年から

◎シリーズ全14巻

早口ことば

外郎売 一声にだすことばえほん



■ 齋藤 孝 編
■ 長野 ヒデ子 絵

ほるぷ出版／2009年／1260円(1200円＋税)

江戸時代の歌舞伎役者・市川團十郎の十八番の一つになっている演目で、売り口上として日本に昔からあった早口ことばをたくさん集めた「外郎売」の絵本です。早口ことばの音を楽しむだけでなく、挿絵と吹き出しにある台詞から、「外郎売」の意味を読み取る楽しさもある本です。

早口ことば

絵本

総ページ
32ページ

対象
小学校低学年から

◎シリーズ全17巻

しりとり

どうぶつしりとりえほん



■ 藪内 正幸 作

岩崎書店／2010年(1996年)／840円(本体800円＋税)

表紙の「らっこ」から始まり裏表紙の「まんもす」まで続く、動物の名前でしりとりあそびをしていく絵本です。見開きに大きく写実的に描かれた動物の親子の挿絵は、どれも色彩豊かで見るのも楽しく、「まだまだ つづけてね。」と言いながら絵本が終わってもしりとりを続けることもできます。

しりとり

絵本

総ページ
24ページ

対象
小学校低学年から

しりとり

ぶたたぬききつねねこ



■馬場 のぼる 作

こぐま社／1978／1050円(1000円+税)



「おひさま」から始まり、ぶた、たぬき、きつね、ねこが「クリスマス」を喜ぶ場面で終わるしりとり絵本です。ユーモラスな絵としりとり言葉が一緒になって、場面が続いていく楽しい絵本です。ストーリーを変えた『ぶたぬききつねねこ その2』もあります。

しりとり

絵本

総ページ
40ページ対 象
小学校低学年から

○シリーズ全2巻

音のひびきを楽しむ

もけら もけら



■山下 洋輔 ぶん ■元永 定正 え

■中辻 悦子 構成

福音館書店／1990年／1260円(1200円+税)



「もけら もけら」「しゃばた しゃばた しゃばた ばたさ」など、ジャズ・ピアニストとして有名な著者が、独特の擬態語と擬音語の世界を表現した絵本です。シンプルな色と形で描いた挿絵とともに不思議な音の響きを楽しむことができます。自分の見たもの、聞いた音、感じた様子を言葉にするおもしろさが伝わってきます。

擬音語・擬態語

絵本

総ページ
32ページ対 象
小学校低学年から

音のひびきを楽しむ

もこ もこもこ ーみるみる絵本ー



■たにかわ しゅんたろう さく

■もとなが さだまさ え

文研出版／1977年／1365円(1300円＋税)



擬音語と擬態語だけで書かれた言葉と、ページをめくるたびに変わっていく絵から、命の誕生と再生を感じさせるストーリーが浮かんできます。短い言葉と大きく色鮮やかに描かれた絵がよく合っていて、読み手の想像力を刺激する絵本です。

擬音語・擬態語

絵本

総ページ
29ページ

対象
小学校低学年から

音のひびきを楽しむ

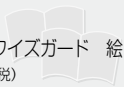
きこえる きこえる



■マーガレット・ワイズ・ブラウン 文

■よしがみ きょうた 訳 ■レナード・ワイズガード 絵

小峰書店／1998年／1365円(本体1300円＋税)



目に包帯を巻いて歩く子犬のマフィンが真っ暗な中で聞く様々な音を紹介しながら、ストーリーが展開していきます。マフィンに聞こえた音を18個の擬音語で表現し、さらに絵を見て音を想像し、自分なりの言葉で表現するページもあります。赤・青・黄・白・黒の5色ですっきりと描かれた絵も楽しい絵本です。

擬音語

絵本

総ページ
47ページ

対象
小学校低学年から

音のひびきを楽しむ

ばしん！ばん！どかん！



- ピーター・スピア ぶん・え
- わたなべ しげお やく

童話館出版／2004年／1575円(本体1500円＋税)



様々な場所、場面、物から聞こえる音を表現した擬音語・擬態語の絵本です。200を超える擬音語・擬態語が、美しく分かりやすい挿絵とともに収められています。ストーリーはなく、見返りから始まる全てのページに擬音語・擬態語を掲載しています。どのページから開いても、楽しみながら読むことができます。

擬音語・擬態語

絵本

総ページ
40ページ

対象
小学校低学年から

音のひびきを楽しむ

もじもじさんのことは劇場 オノマトペの巻



- 西村 敏雄 作

偕成社／2010年／1470円(1400円＋税)



「あはは」「わんわん」など日常生活の中でよく使う49のオノマトペ（擬音語・擬態語）を楽しむ絵と分かりやすい解説で紹介しています。漫画風の絵を見ながら本文を読んでいくうちに、擬音語・擬態語の意味を自然に理解することができます。巻末には五十音順の索引も付いています。

擬音語・擬態語

総ページ
79ページ

対象
小学校中学年から

ことばあそび

あひるがいちわ



■石津 ちひろ 文
■藤枝 リュウジ 絵

B L 出版 / 2005年 / 1155円 (本体1100円+税)



「あひるが いちわ うとうと えんがわで おひるね」など各句があいうえお各段の文字から始まる折句を各行からわ行、濁音・半濁音の行まで集めた言葉あそびの絵本です。見開きが折り句と挿絵から構成されています。折り句という形式で連なった言葉が不思議なおもしろさを描き出しています。

折句
(アクロスティック)

絵本

総ページ
31ページ

対象
小学校低学年から

ことばあそび

あいうえおっとせい -ことばあそびえほん-



■谷川 俊太郎 文
■白根 美代子 絵

さ・え・ら書房 / 1978年 / 1223円 (本体1165円+税)



「あさの いすの うえで えらそうに おっとせい」のように、折り句のおもしろさを織り込んだことばあそびうたの絵本です。英語ではアクロスティックと呼ばれる折り句を使うと、難しそうな濁音行も楽しいうたになってきます。同シリーズに『きっときってかってきて』『とととおとと』など4冊があります。

絵本

折句
(アクロスティック)

総ページ
38ページ

対象
小学校低学年から

◎シリーズ全5巻

ことばあそび

ことばあそびうた



■ 谷川 俊太郎 詩

■ 瀬川 康男 絵

福音館書店／1973年／1050円(本体1000円+税)



15編のことばあそびの詩が、独特の雰囲気を持つ版画絵の挿絵とともに紹介されています。どの詩も、同じ言葉の繰り返しと押韻のおもしろさを効果的に表現しているので、リズム感豊かな音の響きを楽しむことができます。同じシリーズで『ことばあそびうた また』があります。

ことばあそび

詩集 絵本

総ページ
36ページ

対象
小学校低学年から

○シリーズ全2巻

ことばあそび

ことばのこぼこ



■ 和田 誠 さく・え

瑞雲舎／1995年(1982年 すばる書房)／1835円(本体1748円+税)



回文、しりとり、かぞえうたなど18種類のことばあそびが詰まっています。同音異義語「めがでる はがでる」、繰り返しで違う言葉「くらくらくら」など、絵が言葉のおもしろさを引き立てます。声に出して読んでみる、自分でも作ってみるなど、いろいろ楽しめる1冊です。

回文

しりとり

かぞえうた

折句
(アクロスティック)

擬音語・擬態語

同音異義語

総ページ
37ページ

対象
小学校低学年から

ことばあそび

だじゃれどうぶつえん



■中川 ひろたか 文

■高畠 純 絵

絵本館／1999年／840円(本体800円+税)



ペンキを塗るペンギンの絵には「ペンギンぬりたて」、サイズの小さいシャツをおりやり着ているキツネの絵には「きついね」。1ページごとに動物が主役のだじゃれとぴったり合った挿絵が載っています。短くて親しみやすいだじゃれがたくさん詰まった絵本です。

だじゃれ

絵本

総ページ
32ページ

対 象
小学校低学年から

ことばあそび

まさかさかさま 動物回文集



■石津 ちひろ 文

■長 新太 絵

河出書房新社／1989年／1050円(1000円+税)



人間も含め様々な動物を取り入れたユーモアあふれる回文が満載された本です。平仮名で表記され、縦書きになっているものが多いので、上から読んでも下から読んでも同じになる、回文のおもしろさを堪能できます。各ページの左下には漢字交じりの表記も小さく載せているので、意味を考える時の参考になります。

回文

絵本

総ページ
64ページ

対 象
小学校中学年から

かえるが みえる



■ 松岡 享子 さく

■ 馬場 のぼる え

こぐま社／1975年／998円(本体950円＋税)



かえるの動作と様子を表す言葉とユーモラスな挿絵を見ながら、たくさんの動詞を知ることができる絵本です。全ての文が「かえるが〇〇る」という7文字に統一され、テンポよく読むことができます。また、「かえるがかえる」という言葉を使った3つの違う場面からは、同音異義語についても自然に学べます。

動詞

同音異義語

絵本

総ページ

40ページ

対象

小学校低学年から

それ ほんとう？



■ 松岡 享子 ぶん

■ 長 新太 え

福音館書店／2010年／1365円(本体1300円＋税)



「あめりかうまれの ありのありすさんが あるあきの・・・。」いうように、「あ」から「わ」までの五十音で始まる言葉をつないで作ったお話を集めた本です。全て平仮名で表記されているので簡単に読める本に見えますが、言葉の意味を考えながら読んでいくと思わず「それほんとう？」と言いたくなる奇想天外なお話がそろっています。

折句
(アクロスティック)

総ページ

128ページ

対象

小学校中学年から

ことばあそび

おっと合点承知之助 一声にだすことばえほん



■ 齋藤 孝 文
■ つちだ のぶこ 絵

ほるぶ出版／2003年／1260円(本体1200円+税)

おじいさんと孫たちが忍者ごっこをしながら遊んでいるお話の中に、昔から伝わる付け足し言葉が次々と登場します。元気よく描かれた絵が、付け足し言葉を言うときの雰囲気を与えています。「ただいま帰ってキタキツネ」で終わるまで一気に読み、付け足し言葉の使い方とおもしろさが自然に分かる本です。

付け足し言葉

絵本

総ページ
32ページ

対象
小学校・中学年から

◎シリーズ全17巻

ことばあそび

ことばあそびえほん -さかさま はやくち ならべかえ-



■ 石津 ちひろ 文
■ 飯野 和好 絵

のら書店／2000年／1260円(本体1200円+税)

内容にぴたりと合ったイラストと一緒に「さかさまことば(回文)」、「ならべかえことば」、「はやくちことば」を紹介しています。「ありがとうございます(アリ抱くダリア)」「よりそうそりよ(寄りそうソリよ)」のようなちょっと変わった回文からは擬人法、早口ことばからは押韻のおもしろさを感じることもできます。

回文

並べ替え言葉
(アナグラム)

早口ことば

総ページ
63ページ

対象
小学校・中学年から

コラム



「ことばのブックリスト」では、95冊の言葉に関する本を紹介しています。小学生から中学生の時期にぜひ読んで欲しい本を、作成委員と県立図書館の司書が知恵を出し合って選んでいきました。

どの本も日本語の特徴やおもしろさを伝え、言葉によって作り出される詩や歌の世界、そしてことばあそびの楽しさと不思議さを、優れた挿絵や写真とともに伝えてくれるものばかりです。絵本もたくさん紹介されていますが、絵本は決して幼い子どもだけの読み物ではありません。絵を見て想像したことを言葉にする、読み取った内容を絵を見て確認する自分だったらどのような言葉で表現するか考えてみる……。

このブックリストが活用され、小中学生の子どもたちの言葉に関する本との出会いが増えていくことを願っています。

